

中学校職員総合防災研修企画書

防災士 鷲山龍太郎

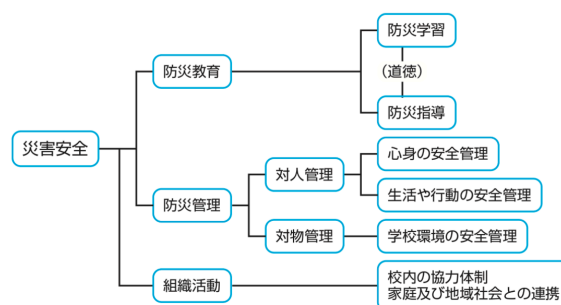
- 1 日時 平成30年11月12日 15時30分～16時45分
- 2 場所：被服室
- 3 内容：講義+協議 ※昨年度の研修を踏まえて
- 4 学校が行うべき、「防災教育」「防災管理」「組織活動」について、日吉台中学校災害対策本部としての対策を考える機会とする。
- 5 目標

- (1) 学校のカリキュラム・マネジメントとして、教科領域を通して、人権・環境・地域貢献・福祉などと並んで、防災教育を意図的・計画的に位置付けて教育できるカリマネについて理解し体験する。
- (2) 激甚な災害に対して、学校内で安全を確保するとともに、帰宅後の生活において、自身と家族の安全と、地域社会の減災に貢献できる、道徳性、意識、知識、技能、組織行動力を養う教育的な取り組みについて研修する。
- (3) 補助的避難場所となる可能性を前提に、避難所運営を想定した計画を立案する基礎をひらくとともに、職員の支援行動、生徒ボランティアの活動への展望をもてるようにする。

学校が行う「防災」とは？（基本的な理解）

学校安全の構造と学校防災

学校安全は、「安全教育」「安全管理」「組織活動」の三つの主要な活動から構成され、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の三つの領域からなっている。学校安全の一領域である災害安全は、学校安全の構造に準じて、次の図のように整理することができる。



文部科学省「生きる力」を育む防災教育の展開 より

6 職員防災訓練のための家庭組織と、取り組み課題

仮想的に次の部会を組織し、職員が配属された組織、係の一員として、最善の課題解決ができるように思考判断をする

組織分担（仮想可）	常時の活動	対策本部組織	本日の課題
組織活動部	管理職・教務 安全？	学校災害対策本部 避難助支援班	1 広域避難場所としての避難民支援 2 補助的避難場所として、200人、500人、1000人受け入れた場合の対応案
防災管理部 A 対人	保健部・家庭科の一部	KCT 専任	中学校区ハザードマップから、地域の災害リスクに対して、学校保健委員会などで子供達にどう考えさせるか。学べるようにするか。
防災管理部 B 対物	事務・技能職員	救出班	学校内建造物倒壊による生徒の救出 近隣での火災・要救出事態への対応 (地域の事業所・公助としての対応)
防災教育部 A カリ	各教科	避難誘導再開班	道徳・各教科・領域で、横断的扱いで防災教育ができる単元で単元プランを立てる
防災教育部 B 貢献	特活	避難誘導再開班	1 災害後に、生徒が地域でどのように貢献活動できるか。 2 平時拠点訓練参加など、できる可能性はないか

			検討。
--	--	--	-----

7 展開

時間	活動内容	備考
15:30	校長挨拶 講師紹介 訓練位置付け	
15:35	鷺山講義 「学校防災としてやるべきこと」 「日吉台学区の災害リスクへの対応」 「ESD と防災教育カリキュラムマネジメント」 各班に課題提示	プロジェクター・スクリーン
16:00	各自思考後 班別協議	組織活動部は学校平面図の拡大版（避難所指定用） 課題が複数の場合は班内で分担し、一人一問に向き合う。
16:15	各班から対策報告 本部から	必要に応じて防災士から助言・監修
16:40	まとめ 本部長講評 防災士講評	

8 用意をお願いしたいもの

組織分担（仮想可）	常時の活動	対策本部組織	学校側で用意していただきたいもの
組織活動部	管理職・教務 安全？	学校災害対策本部 避難助支援班	学校平面図を拡大したもの（補助的避難場所となった場合の場所割り想定用） プロジェクター・スクリーン
防災管理部 A 対人	保健部・家庭科の一部		学区地図 港北区防災マップ
防災管理部 B 対物	事務・技能職員	救出班	学校平面図を拡大したもの（危険箇所記入）
防災教育部 A カリ	各教科担当	避難誘導再開班	学校年間指導計画3年分
防災教育部 B 貢献	特活	避難誘導再開班	各教科 教科書 指導書 資料集など